

令和元年度 事務事業総点検シート(1)
[平成30年度事務事業]

一般会計		事務事業分類			詳細点検
事務事業名	堺市重度障害者対応型共同生活援助事業運営補助			シート番号	A 一般事務事業 11-169
担当部署名	健康福祉	局	障害福祉	部	障害者支援 課 評価責任者(課長名) 増田

Ⅰ. 基本情報

基本情報	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	1	暮らしの確かな安全・安心を確保します	後期実施計画の位置付け
			施策	3	障害者等が自分らしく輝いて暮らせる地域社会の実現	有
	2	事業開始年度	平成 27 年度		終了(予定)年度	— 年度
	3	根拠法令等(法令、条例、規則、要綱等)	堺市重度障害者対応型共同生活援助事業運営補助金交付要綱			
	4	関連計画	第4次堺市障害者長期計画、第5期堺市障害福祉計画			
5	事業実施の経緯	<p>重度障害者の方は、介護や医療的ケアのニーズが高く、一人ひとりの状況に応じた支援が必要とされている。そのような中、住み慣れた地域で生活していただけるよう、グループホームに重度障害者を受け入れる体制整備を進めるため、平成27年度から本事業を開始した。</p>				

Ⅱ. 事業概要

事業概要	6	事業の実施主体(誰が実施しているのか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 本庁 <input type="checkbox"/> 各区 <input type="checkbox"/> 出先機関 () <input type="checkbox"/> 市外郭団体 <input type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input type="checkbox"/> その他 ()				
	7	事業の対象(誰を、何を対象としているのか。)	医療的ケアなどが必要な重度障害者を受け入れている共同生活援助事業所				
	8	事業の目的(どのような状況にしたいのか。)	<p>重度障害者の地域における自立した生活を支援するため、重度障害者を受け入れる共同生活援助事業所(グループホーム)において、手厚い支援体制ができるよう生活支援員及び看護職員を配置するための補助を行うことにより、グループホームにおける安全なサービス提供を確保することを目的とする。</p>				
	9	事業内容(スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	<p>重度障害者を受け入れるグループホームを行う事業所において、生活支援員及び看護職員を加配するために要する経費の一部に対して補助する。</p> <p>【重度障害者】 ① 重度重複障害のある方 ② 強度行動障害のある方 ③ 医療的ケア(健康維持に不可欠で日常生活に必要とされる医療行為)を必要とする方</p> <p>【補助基準額(1事業所当たり)】 ・生活支援員 年間200万円/1日4時間以上、年間310万円/1日6時間以上 ・看護職員 年間 53万円/月24時間以上、年間110万円/月48時間以上</p>				
10	直接実施以外の主な支出先	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 () (福)堺あけぼの福祉会、(福)障友会					

Ⅲ. 投入量

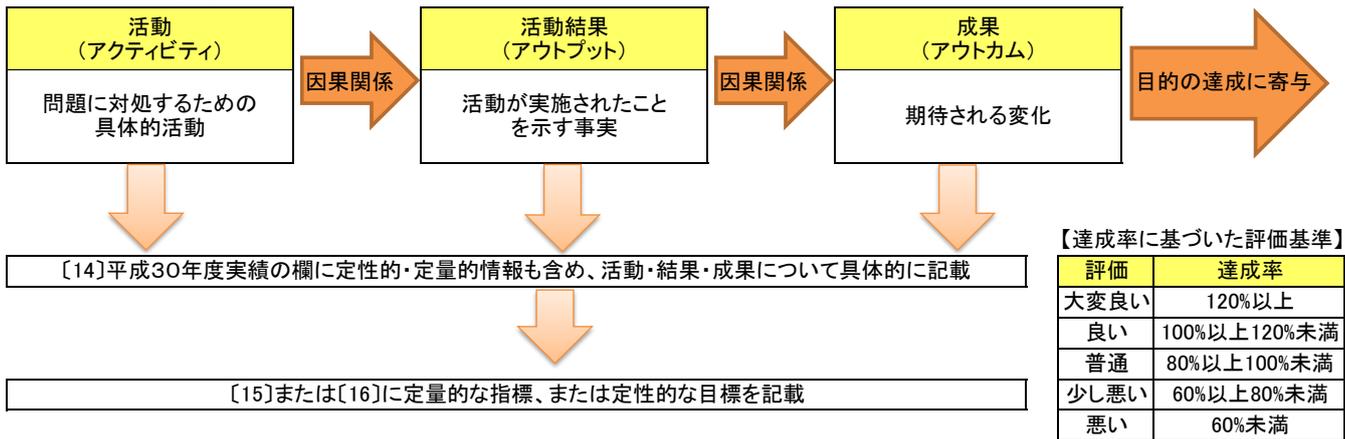
項目		単位	H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算	R1年度予算	
事業コスト	11 事業費 (a)	千円	5,100	4,825	7,830	14,600	
	主な事業費内訳	補助金	千円	5,100	4,825	7,830	14,600
			千円				
			千円				
			千円				
			千円				
	財源内訳	国・府支出金	千円				
		受益者負担金(使用料、手数料等)	千円				
		市債	千円				
		その他()	千円				
		一般財源	千円	5,100	4,825	7,830	14,600
12	人件費 (b)	千円	1,640	1,640	1,640	1,620	
13	総コスト(c)=(a)+(b)	千円	6,740	6,465	9,470	16,220	

令和元年度 事務事業総点検シート(2)

事務事業名	堺市重度障害者対応型共同生活援助事業運営補助	シート番号	11-169
-------	------------------------	-------	--------

≪Ⅳ. 評価(測定・分析)≫

ロジックモデルの考え方



【達成率に基づいた評価基準】

評価	達成率
大変良い	120%以上
良い	100%以上120%未満
普通	80%以上100%未満
少し悪い	60%以上80%未満
悪い	60%未満

事業の活動内容や成果

平成30年度実績									
活動実績と成果	14	<p>平成30年度は、社会福祉法人等が実施する、重度障害者を受け入れるグループホームを行う事業所において、手厚い支援体制ができるよう生活支援員及び看護職員を加配するために要する経費の一部について補助を行った。 また、平成30年度から、補助要件として新たに強度行動障害を対象とするとともに、看護職員の柔軟な支援体制を確保できるよう、配置にかかる補助要件を緩和し、また、生活支援員の配置では補助の充実を行ったことで、看護職員を配置する施設が1か所増加し、計4か所の事業所に対して補助を行った。 その結果、重度障害者の入居者数が12人となり、グループホームにおける安全なサービス提供を確保することにつながった。</p>							
	15	補助対象事業所	単位	か所	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
					目標値	4	4	8	10
					実績値	2	3	4	
					達成率	50%	75%	50%	
					評価	悪い	少し悪い	悪い	
			算出方法・設定根拠など					目標値については、堺市マスタープランに基づく達成目標	
	16	重度障害者入居者数(3月末時点)	単位	人	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
					目標値	-	-	-	-
					実績値	9	12	12	
					達成率	-	-	-	
					評価	-	-	-	
			算出方法・設定根拠など					3月31日現在、補助対象事業所において入居している重度障害者の数	

業績の分析

17	目標を達成できた、または達成できなかった要因についての分析 (その他、関連情報に基づいた分析)	<p>重度障害者に対しては、個々の障害特性などを踏まえた手厚い支援が必要となり、事業所においては、サービスの質の向上なども含めた職員体制の強化が必要であることもあり、補助事業所数が増加していない。</p>
----	--	--

【分析のチェックポイント】

- 事業の達成度はどうでしたか。
- 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありませんでしたか。
- 資源投入は適切でしたか。
- 事前想定できない外的要因の影響はありませんでしたか。
- 事業の有効性は高いですか。低いですか。